

■押川方義 キリスト教伝道家。横浜バンド。仙台を拠点に教育活動、多くの人に影響を及ぼすも、晩年は不遇。

おしかわまさよし

万次郎帰国・1851＝ 伊予国松山で、藩士橋本宅次の三男に生まれる。幼名は熊三。

ペリー来航・1853＝ 2歳：

桜田門外変・1860＝ 9歳：

遣欧使節・1861＝10歳：父が死去したため、同じ松山藩士押川方至の養嗣子となり、方義と名乗る。

幼時より漢学を修め、

明治維新・1868＝17歳：松山藩校の英語学校で英語を学び、
戊辰戦争終・1869＝18歳：藩命により、東京の開成学校に入学、

廃藩置県・1871＝20歳：_横浜に移り、洋学校{修文館}と{高島英学校}で英語を習得、前者でブラウン、後者でパラート、2人のアメリカ・オランダ改革派教会の宣教師と出会って感化を受け、“パラートの英学校”に通ううち、

学問のすすめ1872＝21歳：*日本最初のプロテスタント教会{日本基督公会}で、パラートから受洗。

明治6年政変 1873＝22歳：_{修文館}廃止後、ブラウンが自宅で開いた塾にも通い、ともに終生の恩師恩人となる。

佐賀の乱・1874＝23歳：“パラートの英学校”と“ブラウンの塾”が合同し、_いわゆる横浜バンドの一人となる。

初の民間工場1875＝24歳：_青年長老として静岡で伝道活動を開始、新潟伝道中のイギリス宣教師パームの通訳の代役を志願し、

三つの内乱・1876＝25歳：_パームの助手なって、新潟伝道、

西南戦争・1877＝26歳：さらに、東京一致神学校に合同、

大久保暗殺・1878＝27歳：築地の東京公会(新米教会)第一回全国基督教信徒大親睦会に出席し、迫害に対する悲壮な覚悟を吐露。途中で、石油開発のために新潟に来た吉田亀太郎の協力も得て{新潟教会}、{東中通教会}が形成される。

・1880＝29歳：吉田とともに_新潟大火を契機に仙台伝道を志し、パームの励ましのもと、仙台で東北伝道を開始、

明治14年政変1881＝30歳：*伝道は困難を極め、腸チフスを患って療養も強いられるなか、2人に授洗して、{仙台日本基督教会}の創立記念日となる。以後、急速に伝播拡大し、

岩倉具視没・1883＝32歳：第三回全国基督教信徒大親睦会に出席、熱狂的な集会となり、仙台の教会員に檄を飛ばす。

内閣発足・1885＝34歳：_{宮城中会}を組織、自ら議長となって日本基督教会に合同。宣教師を求めて上京し、

帝国大学始・1886＝35歳：この年、福島耶蘇教講義所が設立され、吉田亀太郎が初代牧師になる。仙台に新島襄を校長に迎えて{東華学校}が設立されたのに対処すべく、_恩師バラ宅で出会ったアメリカ宣教師ホーイの協力を得て、合衆国改革派ミッションの{仙台神学校}を設立。また来日した2人の日本では初めての女性宣教師を迎えて、姉妹校{宮城女学校}を設立。さらに、山形県で伝道を開始し、{上山教会}、

国民之友始・1887＝36歳：_{山形教会}、

帝国憲法発布1888＝37歳：_{鶴岡教会}、

帝国憲法発布1889＝38歳：翌年にかけて、欧米を視察、

帝国議会始・1890＝39歳：_{米沢教会}を設立。

大津事件・1891＝40歳：_{仙台神学校}を改組した{東北学院}の院長に就任するとともに、日本文化のアジア進出を考え、

日清戦争始・1894＝43歳：*キリスト教界、政財界人の協力で、{大日本海外教育会}を興し、朝鮮に{京城学堂}を設立したが、

白馬会・1896＝45歳：

田中正造直訴1901＝50歳：*{仙台日本基督教会}の牧師を退任して以降、

_ {北海道同志教育会}などを組織するも永続せず、

日露戦争終・1905＝54歳：

明治天皇没・1912＝61歳：

第一次大戦始1914＝63歳：

ロシア革命・1917＝66歳：憲政会から衆議院議員に当選、

大暴落・1920＝69歳：再び衆議院議員に当選したりしたが、

原敬首相暗殺1921＝70歳：

関東大震災・1923＝72歳：

_晩年は不遇で、

共産党事件・1928＝77歳：脳溢血で_没した。

長男は、冒険小説家の草分け押川春浪（本名、方存）。二男は、プロ野球の生みの親である押川清。